

## 1 研究主題

小・中学校が連携して取り組む外国語活動・英語教育の充実  
～コミュニケーション意欲・能力の育成を目指して～

## 2 研究の概要

柏崎市刈羽郡学校教育研究会が主体となり、柏崎市教育センター、柏崎市・刈羽村教育委員会とタイアップしながら研究に取り組む。また、外国語教育担当者のための研修会などを通して日本の英語教育の動向等にも目を向け、求められているものと目指す方向を理解し、指導に反映させる。

- (1) 指導力向上のための研修を推進する。(教師のための英会話教室等)
- (2) 中学校区単位で外国語活動、英語教育に関する小・中連携を一層推進する。(授業研究会、外国語教育担当教員研修集会等)

## 3 研究の実際

### (1) 教師のための英会話教室

柏崎市教育センターで開催され、小中学校の教員が多数参加した。教員のニーズに合わせた言語活動が用意され、柏崎市の指導主事と当該地域に配属されているALTによる指導の下、楽しく充実した研修会となった。この研修では、「椅子とりゲーム」のような誰でも知っている形式に、英語での自己紹介や他己紹介を取り入れたコミュニケーション活動などを組み合わせ、実際に教室で子ども達が楽しみながら使える言語活動を体験することができた。参加者から「すぐに使える活動をたくさん教えていただいたので、授業に生かしたい。」「教わった活動をアレンジして子ども達に体験させたい。」「楽しく英語を使って子ども達が覚えていくことが大切だと感じた。」等の声が聞かれ、教師が元気になる研修であった。



### (2) 授業研究会

柏崎市立北条小学校を会場に、同校の青柳みゆき教諭から「桃太郎の英語劇をしよう!」という課題で授業公開していただいた。北条小の研究主題にある「かかわり合い」を意識し、桃太郎が仲間と出会う場面を英語劇で表現することで、外国語に親しみコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指していた。



導入ではチャンツで台詞に慣れ親しむ活動を行い、引き続き「かかわり合い」の必然が生まれる「シークレットカードゲーム」を行いながら子どもの表現への意欲を高めていた。また、子ども同士の評価やアドバイスの場面があり、自ら上達していこうとする子ども達の姿がはっきりと見えたレベルの高い授業であり、参加者全員にとって学ぶ点が多い授業であった。

## 4 成果と課題

柏崎市教育センターでの様々な研修や授業研究会を通して、外国語活動に対する教師の指導技術はさることながら、指導意欲も年々高まっていることが研修後のアンケートから感じられる。このことが最大の成果である。一方、小・中連携した取組という点では、小学校で学習した内容を中学校の学習のどこで、どう生かすかについてはまだまだ改善の余地があり、小・中の教師同士の連携が求められる。